



季節風

発行所
「季節風」発行委員会
印刷所
有限会社エージーピー

航空支援集団司令官 年頭の挨拶



航空気象群の諸官、心の拠り所となつてく
また、平素から隊員の ださっているご家族の

皆様、そして「季節風」をご覧の皆様、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、航空支援集団が国内外で各種活動を行う中、航空気象群は約18万回の気象観測通報、約3万5千回の気象ブリーフィング、国外任務への要員の派遣

並びに、大韓民国空軍及びアラブ首長国連邦空軍との交流を通じ、我が国の多角的・多層的な安全保障協力の推進に向けた活動を着実に実施したほか、航空支援集団教育訓練検閲では、日ごろの練成の成果を如何なく発揮しました。これもひとえに、金野群司令を先頭に隊員諸官が一丸となつて真摯に職務に取り組んだ証左だと確信しています。

本年は、気象業務の中核となる統合気象システムが更新されるほか、2月には航空自衛隊持続走大会の運営を航空気象群が中核となつて実施します。諸官には、航空気象群とその一員である自分こそが航空防衛力の礎であるとの矜持のもと、日々の職務と研鑽に邁進することを期待しています。

結びにあたり本年が隊員諸官及び皆様にとり幸多き一年でありますよう祈念しまして年頭の挨拶といたします。

航空支援集団司令官
空将 森田 雄博

航空気象群司令 年頭の挨拶



2024年を迎え、航空気象群司令として新年のご挨拶を申し上げます。

はじめに、1月1日に発生した能登半島地震

す。さらに、被災された方々への支援物資の輸送任務中に殉職された航空自衛隊OBを含む海上保安庁の5名の職員の方々とご遺族に対し、謹んで哀悼の意を表します。航空気象群は、引き続き自衛隊が行っている災害派遣活動に、全力で取り組むとともに、安全確実な活動を支援するために必要な気象情報の提供を継続してまいります。

改めまして、全国各地で勤務している航空気象群の隊員及び「季節風」をお読みいただいている皆様に対し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年2月に着任してから、間もなく1年となります。この1年、コロナ禍における各種制限が解除され、気象群の隊員が勤務する各基地や地域における諸行事が再開されたことに加え、我が国が直面する複雑で厳しい安全保障環境を受けて、外国空軍との共同訓練や自衛隊機の国外運航任

務の機会が増加したことに伴い、恒常的な業務とは異なる緊張感あふれる気象業務や基地業務に、隊員一人一人が誠実に取り組み、気象群としてその役割を確実に果たしました。

本年も、昨年以上に我々が航空自衛隊の活動に不可欠な重要な機能を担っていることを実感する機会が増えることと思います。昨年の経験を活かし、隊員一人一人が自らの職務に誇りと責任を持ち、確実にこれを遂行しつつ、更なる飛躍を遂げていきたいと思います。

航空気象群は、引き続き航空自衛隊の活動に不可欠な機能を提供しつつ、取り巻く環境の変化に適切に対応すべく、自ら変化にチャレンジしてまいります。

どうか、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様のご健勝とご多幸を、また本年が皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。

航空気象群司令
一等空佐 金野 浩子



本年もよろしくお祈りします



気象隊広報ブース 初出展!

築城

梅雨明け目前の令和5年7月21日、築城基地では4年ぶりにサマーフェスタが開催されました。

気象隊としては、毎年、気象支援や基地への差出要員として数名参加していましたが、今回は先述の支援のほかに、気象隊独自に広報ブースを設置し、携来場者は気象隊のブースに興味を持ってくださるのか...と考えれば

私は入隊して5年ほど経ちますが、サマーフェスタ、広報活動ともに初めてでした。ど



置していた地方協力本部に負けないよう、気象隊を積極的にアピールしました。天気が大好きな子供、山登りが趣味で天気図を人、ラジオで天気図を描いていたという猛者、気象隊のブースは珍しいと装飾品をキラキラした眼差しで見

自衛隊のことが好きな人...など子供から大人まで多くの方に気象隊を知ってもらった機会になりました。今回のイベントがきっかけで気象職種に興味を持ってもらい、入隊希望者が少しでも増えれば嬉しいです。築城気象隊 Y士長

芦屋基地航空祭

芦屋

こんにちは。芦屋気象隊のK3曹です。

10月の芦屋基地航空祭にて展示飛行のナレーションを行わせていただきました。

このお話を頂いた時に、「お客様に、誰一人余すことなく、この時だけは日常を忘れて楽しんでほしい。その



お手伝いが少しでもできたら」と、某夢の国のスタッフにも劣らない強い思いが沸き上がりました。

一言でおお客様の視線が一同に航空機に向けられた瞬間、胸にこみ上げてくるものがありました。航空機に合わせてアナウンスをするのは非常に大変でしたが、多くの方々に支え

おもてなしが少しでも伝わった。そう感じた瞬間でした。「昨年楽しかったから今年も来ました。」

来年、そのような声が少しでも聞けたら、今から期待をしています。芦屋気象隊 K3曹

飛行展示終了後、お帰りになられるお客様に手を振り、精一杯の感謝を伝えました。おかげ様でお客様も大変満足された様子で、多くの方が手を振り返して下さり、ありがとうと手話で返してくださいました。「我々一同の



令和5年度 府中市 総合防災訓練

中樞



各エリアの見学後、救出救助活動の展示が始まり、これまでの訓練成果を発揮するため各人、気合を入れて本番に取り組みました。事前訓練時よりも多くの方々の目の前で本番は、各人が高い集中力と緊張感を持ちながら、それぞれ

基地研修支援を終えて
令和5年5月15日から同年5月19日の5日間、防府北基地に入校した。沢山の学生に興味を

の中学校には、航空自衛隊や陸上自衛隊の広報エリアや炊き出しエリアのほか、消防署や警察署の各展示エリアなども公開しており、一般の方々が各エリアを見学されていました。私自身も地震車に搭乗させて頂き、強い揺れの際にいかに成す術がないかを体感する



象所見学では、観測員や予報官が実際に勤務しているところを見てもらいました。学生は実際に見学することで、気象隊の業務をイメージできたようであり、概要説明の時に比べ、質問してくる学生が多くなりました。質問は多種多様で、予報失効時刻を示した壁掛け時計や掲示物の内容など航空気象及び気象所内にある物全てに興味津々でした。また、研修の最後に希望職種を聞いた際には、気象観測員を希望する学生

MROS展開

芦屋



令和5年11月8日、芦屋基地において移動式気象レーダー装置(以下MROS)が到着し、久しぶりにMROSの展開が実施されました。暑さも薄れ、

秋晴れと爽やかな風に吹かれる中、作業開始ミーティング早々I2曹からの脊髄まで冷えオヤジギャグを賜り、士気も上々(?)、事故を起こさぬよう安

全管理に万全を期し、臨みました。この日のためにケールブルカパーの設置や土嚢の作成に勤しみ、綿密な準備の甲斐あり、順調に展開を終え、あとは芦屋名物のイノシシの徒党による器材への悪戯に怯える日々を過ごすのみとなりました。最近夜になると、人の指を噛み千切る程の咬合力をもつ可愛いウリボーたちが滑走路を縦横無尽に走り回っています。ともあれ、MROSの展開は順調に終わり、返納まで安全確実な管理を徹底します。芦屋気象隊 T3曹

が多くの学生



警備火器射撃訓練

築城

私は、令和5年6月5日に部隊に配置されて初めての警備火器射撃訓練に参加しました。

教育隊では一度だけ実弾射撃を経験しましたが、築城基地での射撃訓練は射撃距離などが異なるものでした。



たのでとても参考になりました。また、本番と同じ流れで予行を行い、教育隊との射場の環境などの違いを事前に理解することができました。

警備特技の隊員から「センスがある。」と褒められていたため、本番当日は、高得点が狙えるだろうという気持ちで臨みましたが、練習とは違う本番独特の空気感に飲まれ、照準が定まらず思ったような結果が残せませんでした。

今回の訓練では、技量を過信してしまい、とても悔しい思いをしたので、次回こそは今回学んだ教訓を活かしながら落ち着いて訓練に臨み、満足のいく結果を獲得したいと思います。

隊では私とM3曹が、航空自衛隊の各基地で実施された厳しい訓練で、MCAの資格を取りました。

即応機動訓練に参加して

横田



令和5年11月13日から18日までの間、私は岡山空港で実施された「即応機動訓練」に、MCAとして参加しました。

Airman (多機能補助員) の略で、施設、通信、管制、気象、衛生、警備等を担当する特技員と共に活動することができ、主特技以外の能力を習得したとができた訓練でした。

MCAとは、Multi Capable

隊では私とM3曹が、航空自衛隊の各基地で実施された厳しい訓練で、MCAの資格を取りました。

参加した訓練は、大規模災害等が発生した際に、被害を受けた飛行場等において応急的な拠点

を構築する訓練で、岡山県庁をはじめとする自治体等関係者の皆様方のご協力により、民間空港を使用し、初めて自衛隊が実施することができた訓練でした。

岡山空港は山間部にあり、思っていたよりも寒く、同じ訓練に参加した仲間たちとともにスムーズな拠点構築はできたものの、撤収時は雪がちらつく天候になり、装備と準備の大切さが身に染み込んだ訓練となりました。

この訓練を通して、災害等の急急の事態においても即座に動けるMCAとして、普段から自覚を持って勤務していることを強く感じました。

隊員をいいます。我が隊員をいいます。我が隊員をいいます。

隊員をいいます。我が隊員をいいます。我が隊員をいいます。

隊員をいいます。我が隊員をいいます。我が隊員をいいます。

隊員をいいます。我が隊員をいいます。我が隊員をいいます。

航空観閲式に向けて

入間



成功させるための重要な任務のひとつです。警備の任務に就くにあたり各種訓練を実施しました。不測事態を想定した訓練では本番さながらの緊張感がありました。同じ配置に就いた仲間には警備任務への意気込みを尋ねると「与えられた任務を果たすだけ、バッチライ！」と強い決意を示してくれました。そんな心強い仲間の声に自然と皆の士気と結束力が高まり、警備任務に就くことへの責任感と誇りを認識できました。この記事を作成している今は本番の数週間前です。

まだ航空観閲式は終わっていませんが、必ず任務をやり遂げ、航空観閲式の成功に貢献したいと思っています。

つれて皆の航空観閲式に向けての士気も高揚ができました。入間基地全体が美しくなるに

入間気象隊 S1士長

沖縄日米気象隊交流

那覇

「はいたい」季節風をご覧の皆様こんにちは。那覇歴2年目趣味はシュノーケルのI士長です。過ぎゆく秋に寂しさを感じる頃だと思いますが、いかがお過ごしでしょうか。こちらは11月半ばです

名気象員が見学に来られました。以前に電

話で業務会話をしたことがありましたが、実際に会う機会は私自身今回が初めてでした。

少緊張する中で当日を迎え、挨拶を交わすと皆さんとてもフレンドリーで私の緊張は一気に解けました。そこから各職場を案内し那覇気象隊の特徴や英語ブリーフィングを行っている様子を見学してもらいました。米軍の方々は自衛隊が有している気象データをシェアしてほ

しいと仰っていました。また、観測塔から一望することができ、海景は彼らを虜にしていました。観測員として普段行っている業務を英語で説明した際に伝えたい言葉が出てくる時もありました。相手の私の伝えたことを汲み取って話を聞いてもらえたことに感謝することができました。

最後に米軍の方からワッペンをいただき、



「はいたい」季節風をご覧の皆様こんにちは。那覇歴2年目趣味はシュノーケルのI士長です。過ぎゆく秋に寂しさを感じる頃だと思いますが、いかがお過ごしでしょうか。こちらは11月半ばです

名気象員が見学に来られました。以前に電

話で業務会話をしたことがありましたが、実際に会う機会は私自身今回が初めてでした。

少緊張する中で当日を迎え、挨拶を交わすと皆さんとてもフレンドリーで私の緊張は一気に解けました。そこから各職場を案内し那覇気象隊の特徴や英語ブリーフィングを行っている様子を見学してもらいました。米軍の方々は自衛隊が有している気象データをシェアしてほ

最後に米軍の方からワッペンをいただき、

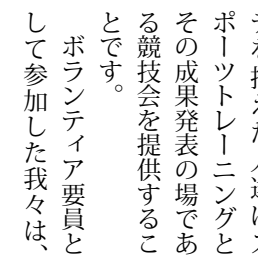


ボランティア要員として参加した我々は、

火台を取り囲み、華やかなセレモニーは終了、白熱の競技が始まりました。

競技種目は、50メートル走やソフトボール投げといった王道競技に加え、サッカーや野球を模したもので多種多様であり、日米の選手が真剣に取り組み姿は、見る者の胸を打ち、自分の中にも熱い気持ちがかみ上げてきました。

本イベントにボラン



文化の日として各地で様々な行事が開催された翌日、横田基地においてはスポーツイベントとしてスペシャルオリンピックスが開催されました。本イベントの目的は、体にハンデを抱えた人達にスポーツトレーニングとその成果発表の場である競技会を提供することです。

「はやくん」達と共に開会式に参列しました。会が進行する中、参加した日米の子供達と共に風船を片手に聖火台を取り囲み、華やかなセレモニーは終了、白熱の競技が始まりました。

競技種目は、50メートル走やソフトボール投げといった王道競技に加え、サッカーや野球を模したもので多種多様であり、日米の選手が真剣に取り組み姿は、見る者の胸を打ち、自分の中にも熱い気持ちがかみ上げてきました。

本イベントにボラン

スペシャルオリンピックス

横田



文化の日として各地で様々な行事が開催された翌日、横田基地においてはスポーツイベントとしてスペシャルオリンピックスが開催されました。本イベントの目的は、体にハンデを抱えた人達にスポーツトレーニングとその成果発表の場である競技会を提供することです。

「はやくん」達と共に開会式に参列しました。会が進行する中、参加した日米の子供達と共に風船を片手に聖火台を取り囲み、華やかなセレモニーは終了、白熱の競技が始まりました。

競技種目は、50メートル走やソフトボール投げといった王道競技に加え、サッカーや野球を模したもので多種多様であり、日米の選手が真剣に取り組み姿は、見る者の胸を打ち、自分の中にも熱い気持ちがかみ上げてきました。

本イベントにボラン

3部隊懇親会 芦屋

令和5年9月30日、シヨートは一人だけ異我が芦屋気象隊は、春次元の動きで、打つ日及び築城気象隊との3隊合同ソフトボール大会&BBQを芦屋基地にて開催しました。参加人数約50名で、みんな元気ハツラツで！全3試合、全体を通して、白熱した大会となりとても盛り上がりま

した。第1試合は芦屋対築城で火蓋が切られまし。試合は終始芦屋が劣勢で進み、一方的な試合展開となりました。第2試合は、芦屋対春日です。春日の



て、延長の末に築城が得点を決め、築城気象隊が1勝1敗、得失点差で優勝しました。試合後のBBQでは、ともに汗を流した隊員たちと交流し、周りを見渡すと各々が旧友と親交を深め、また新たに親交が生まれ、各部隊間の協力関係がより一層強固なものになったと感じま

バスケットボール

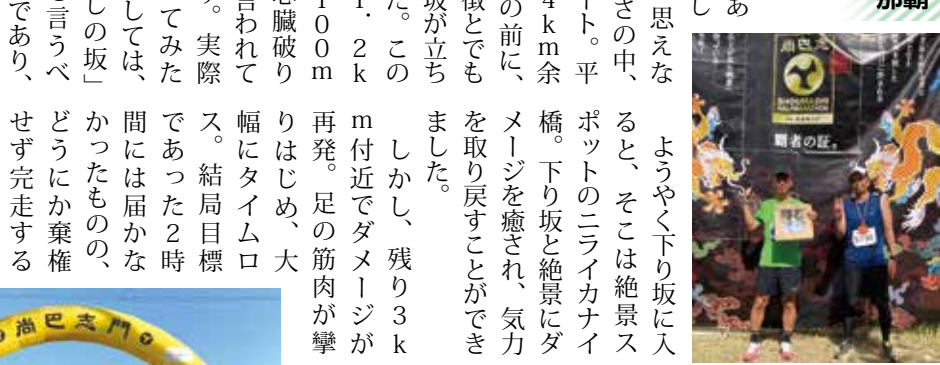
小牧

こんにちは。小牧気象隊観測班のM士長です。この度、初めて季節風に記事を投稿させていただきます。今回は私の趣味のバスケットボール(以下バスケット)について紹介したいと思います。私は、中学から高校までバスケット部に所属しておりました。はじめはバスケットに全く興味あ



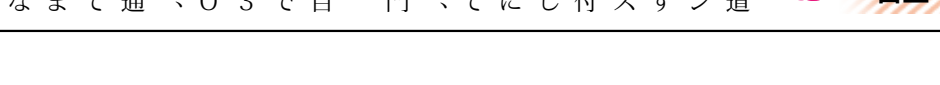
小牧気象隊 M士長

尚巴志ハーフマラソン参加 那覇



令和5年11月5日、南国沖縄であることを考慮し、尚巴志ハーフマラソンin南城市が開催されました。節目の20回目となるこの大会に、那覇気象隊からは、隊長が3kmの部に、I曹長、T1曹及び私S1曹の3名がハーフの部に参加。また、気象群司令も休日を利用して沖縄を訪れ、ハーフの部に参加されました。

水戸黄門漫遊マラソン参加 百里



令和5年10月29日、茨城県水戸市で「第8回水戸黄門漫遊マラソン」が開催されました。今年参加者約1万1千人が快走し、秋の水戸市を盛り上げました。我々百里気象隊からは、整備班N2曹を筆頭に私を含めた4名が参加し、会場で偶然遭遇した中樞気象隊H2曹とエールを交換しました。私にとっては2回目のフルマラソン、N2曹は3回目、K3曹は2回目、T3曹は初参加ということで、3人に比べ緊張した雰囲気でした。目標タイムは、N2曹及びT3曹は4時間、K3曹及びO3曹は、5時間半での完走を目指してスタートしました。当日は曇りでしたが、雨がぱらついていましたが、その雨もすぐにやみ、最高のマラソン日和になりました。

浜松気象隊ラーメン部

浜松

今回は浜松気象隊員少数で秘密裏に活動している浜松気象隊ラーメン部の紹介したいと思います。皆さんは、どんなラーメンが好きですか？醤油、塩、味噌、豚骨、家系、二郎系等、この世にはたくさんのラーメンのジャンルがあり、味の種類も未知数です。我々の活動では、ジャンルを問わず様々な美味しいラーメンの情報交換したり、夜に数人で集まって食べるのに行ったりすることで行ったこと、各人のラーメン愛をより深めていきます。何故この時間、特に夜に食べるのか？と思う方もいるかもしれませんが、部員は純粋にラーメンを愛する内務班の観測員が過半数を占めてお



百里気象隊 O3曹